

ダンス

令和4年9月日 〇 校時
3年1組・3年2組 女子28名

(1) 近代の日本と世界

課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動について、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。

ア 次のような知識を身に付けること。

(ア) 創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ること。

イ 次のような思考力、判断力、表現力を身に付けること。

(イ) 表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

ウ 次のような学びに向かう力・人間性等を身に付けること。

(ウ) ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。

(1) 単元観

本単元は、感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方や運動観察の方法などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をするのに適した単元である。

(2) 生徒観

本学級の生徒に事前に行ったアンケート（令和4年7月4日実施，26名回答，2名欠席）では、「体育の授業が好きである（保健は含まない）」と回答した生徒の割合は76.9%であった。好きでない生徒の回答には「運動が苦手」，「体力に自信がない」，「運動する姿を見られることが恥ずかしい」などの理由であった。生徒同士の教え合いなどの協働的な学習では，どの単元においても意欲的に行うことができている。本単元のダンスにおいては，「ダンスに興味がある」生徒は80.8%と高く，その中で「ダンスを行うことが好き」である生徒46.2%とダンスに関心ある生徒が多く，メディアで多く取り上げられていることやオリンピックの正式種目に採用されたことなどが，生徒の興味を高めていると考える。生徒の体力は新体力テストの8項目全てにおいて，全国平均より低く，特に持久走においては，57秒も遅く課題がある。

(3) 指導観

本単元では，ダンスをする楽しさや喜びを味わいながら，グループで1つの作品を完成させる成功体験を経験することで，自分を表現する力が身に付き，自信を付けて次の学びにつなげていきたい。その中でダンスの歴史や発展学び，体育科の「する，みる，支える，知る」の見方・考え方を捉え，体力向上も含め，日常生活に結び付けていきたい。

ICT機器で動画撮影を行い，問題発見解決能力，情報活用能力，言語能力の学習の資質・能力の基盤となる力を身に付けていきたい。

(4) 単元の目標

- 欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できる。
- 欧米諸国のアジアへの進出に対するアジア諸国の対応と変容について理解できる。 【ア. 知識・技能】
- 日本が開国した理由を、欧米諸国のアジアへの進出と関連付けて考察し、表現できる。
- 近代民主主義社会の特徴を、近世の社会と比較して考察し、表現できる。
- 欧米諸国がアジアへ進出した理由について考察し、表現できる。 【イ. 思考・判断・表現】
- 日本が開国した理由や欧米諸国がアジアへ進出した理由について主体的に追究、解決しようとすることができる。 【ウ. 主体的に学習に取り組む態度】

(5) 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として、次の資質・能力の育成に重点を置いている。

①言語・数量・情報 ②問題解決力 ③情報活用力 ④コミュニケーション能力 ⑤主体性・協調性

この中から、本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて、次の2点に重点を置くものとする。

② 問題解決力

本単元では、既習事項である江戸幕府の鎖国政策の知識と、幕末期における開国というできごとの違いから、「なぜ江戸幕府は鎖国から開国へと大きく方針を変えたのだろうか」という単元を貫く問いを設定する。この問いの答えを生徒に予想させたり、仮説を立てさせたりしながら、この問いを解決するためにはどのような知識を学ばよいか考えさせ、学習の見通しを持たせることで問題解決力の育成を図る。また、既習事項と資料を結びつけて、自らの意見を持ち、他者と交流しながら問題を解決していく力を身に付けさせたい。

⑤ 主体性・協調性

課題の解決に向けて、クロームブックを活用してグループで意見交流をする場面を設定することで、生徒の主体性・協調性を伸ばしたい。また資料を根拠にして、自分の意見を説明させることで、さらに理解を深めさせ、他者の意見から新たな視点を得させることで主体性・協調性を持って学習に取り組むことの意義にも気付かせたい。

2 単元の評価規準

観点	ア. 知識・技能	イ. 思考・判断・表現	ウ. 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>① ダンスのイメージを捉え、空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたリして踊ることができる。</p> <p>② リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。</p>	<p>① 表現などの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。</p>	<p>① ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすることができる。</p> <p>② 作品や発表などの話合いに貢献し、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようすることができる。</p>

3 指導計画（5時間）

次	時	学習活動	指導上の留意点（○） 予想される生徒の反応（・）	評価規準 【観点】(評価方法)
一	1	1. 導入	○今単元の計画を伝え、見通しを持たせ	
		【単元を貫く課題】 みんなで自由に踊る楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方を理解し、イメージを深めた表現や空間を使った踊りを通した交流や発表をする。		
		2. 本時の学習課題の確認		
		めあて：ダンスの曲と簡易的に構成を決めることができる。		
二	2	3. インターネットでダンスに使用する曲を決める。		【ウ②】 (観察)
		4. ダンスの構成をグループで考える。	○機械運動の要素を取り入れること。	
		5. まとめ	○決めた曲のダンスを覚えてくるよう課題とし、次回、グループでダンスを確認する。	
		1. 導入	○前時の内容を確認し、ダンスの確認と発表の方法を伝える。	
二	2	2. 本時の学習課題の確認		
		めあて：リズムに乗って踊ることができる。		
		3. リーダーを中心に覚えてきたダンスを踊り、ダンスの確認を行う。	・恥ずかしい ・失敗することが嫌だ。 ○ダンス動画を視聴する。	【ア②】 (観察)
		4. ダンスを通して踊る。		
二	2	5. まとめ	○ダンスの課題を確認する。	【ウ①】 (振り返りシート)

三	3	1. 導入	○前時の既習を想起する。	【イ①】 (観察・振り返りシート)
		2. 本時の学習課題の確認 めあて：ダンスの構成を決めて踊ることができる。		
四	4 (本時)	3. 各グループでダンスの構成考える。 4. 実際に考えたダンスを踊り、動画撮影を行う。	○機械運動の要素を取り入れる。 ○立ち位置やポジションを決める。 ○次回予告を行う。	【ア①】【①】 (授業ノート、振り返りシート)
		5. まとめ		
四	4 (本時)	1. 本時の学習課題の確認 めあて：ダンスの動画撮影を行い、空間の使い方を考えることができる。		【ア①】【①】 (授業ノート、振り返りシート)
		2. 前時で決めた構成したダンスを実際に踊り、全体の流れの確認をする。 3. 各グループで動画撮影を行う。 4. 空間の使い方について動画見て、話し合いを行い変更する 3. まとめ	○撮影位置は全グループ統一する。 ・立ち位置の場所を変更しよう。 ・画面に入らないがいたので、間隔を変更しよう。	